

てくてくウォーク

110

今回は

久米城跡の見どころを巡る
散策コースをご紹介します

久米城は、鎌倉時代に大掾氏が館を構えたのが始まりと伝えられています。小野崎氏系の久米氏が代々居城とし、その後佐竹氏は山入氏に対抗するため、久米氏を部垂城へ移して佐竹義治の子義武を置いて守らせました。文明10（1478）年、山入義知が久米城に攻め寄せ、城主などが討死し落城しましたが、佐竹義治が自ら軍勢を率いて久米城を奪還、義武の弟義信を城主とし、この家系が佐竹北家と呼ばれて代々続いたそうです。今回は、鹿島神社の鳥居をくぐりぬけ、城跡の見どころを巡ります。道中、足元に注意が必要な場所がありますが、皆さんに楽しんでもらうため、「未来へつなぐ久米城跡保存会」の方々が歩きやすいように整備しています。当時の城主に思いを馳せながら、ゆったりと歩いてみてはいかがでしょうか。

① 垂直の崖



当時の城は、自然地形を利用して造られています。この場所はV字谷を深く掘りこみ、谷底を水平に削り約8mの落差がある崖を造り出し、敵の侵入を遮断している場所です。見学時は足元に十分ご注意ください。

② 西の城



テレビ中継所のある曲輪から堀切で区分された南西に並ぶ三つの曲輪を中心とする一帯。南西側には段々に5・6段の曲輪が配置されています。標高104.3mの物見台からの眺めは、四季折々の美しさが楽しめます。

③ 本城跡



久米城本城跡の看板と佐竹北家の旗が目印。三市（秋田・仙北・当市）の連携交流提携10周年を記念して、秋田県仙北市教育委員会から寄贈された枝垂れ桜が植樹されています。

ご希望がありましたら、
散策コースを
ご案内します！



久米城跡コース

【スタート】

久米城跡駐車場

▶距離…約4km

▶時間…約2時間



城郭用語解説

- 曲輪(郭)
城を構成する土塁や堀で囲まれた一区画。
- 堀切
山の尾根や台地づたいの侵入を妨ぐもので、尾根や台地を切断(または分断)するように掘られた堀。

④ 鹿島神社



明和4（1767）年創建。祭神は武甕槌命（たけみかづちのみこと）。東の城の二の曲輪に位置します。

⑤ 山の神



南の出城の南方約170mに位置する城域の南端には、山を守護する神として信仰され、山仕事の安全を祈願した山の神の祠があります。